

## 第四回 千代田区立九段中等教育学校入学等あり方検討会 議事要旨

日 時 : 令和6年3月27日(水) 午前10時~10時30分

会 場 : 千代田区役所4階 教育委員会室

出席者 : [委員長] 大森委員(教育担当部長)

[委員] 野中委員(東京学芸大学特別教授)

浅岡委員(区立小学校長会会長、昌平小学校長)

野村委員(九段中等教育学校長)

山本委員(指導課長)

大塚委員(学務課長)

[事務局] 高田学務係長

石川学務係主事

大塚九段中等教育学校経営企画室長

※堀越副委員長(区立中学校長会会長、麴町中学校長)及び宇田委員(大妻女子大学教職総合支援センター所長、教授)は欠席

### ◇会議の概要

#### 次第1 開会

- ・委員長より開会の宣言

#### 次第2 教育長挨拶

- ・教育長より挨拶

#### 次第3 議事

(1) 令和6年度入学 男女合同定員での適性検査結果について

- ・事務局より、資料に基づき「令和6年度入学男女合同定員での適性検査結果」について説明

#### 【質疑応答】

委員長 : 事務局からの説明では、男女合同定員に関して教育委員会に学習塾運営事業者より問い合わせがあったとのことだが、直接学校への問い合わせはあったか。

野村委員 : 男女合同定員を知らなかったという学習塾運営事業者より問い合わせがあり、急遽十数社を学校に招いて説明会を行った。保護者からの問い合わせはなかった。

委員長 : 当初想定されたほどの反響はなく、概ね落ち着いて受け止められたものと思われる。

## (2) 意見交換

委員長：男女合同定員での適性検査結果について事務局から説明があったが、説明を受けての感想や意見、今後の課題などをお聞かせいただきたい。

野中委員：男女合同定員に改めて1年目ということで、すぐに結果に表れることにはならないと思う。受検倍率は5年間で少し下がってきているが、要因は把握されているのか。また、適性検査の結果を見て、今年の新入学生の印象をお聞かせ願いたい。

野村委員：都立中高一貫校の受検倍率は軒並み下がってきているが、九段中等は誤差の範囲と判断できる。下がっているが、これだけ保っているとみてよいのではないか。

都立高校の受検倍率が下がってきている要因として、私立高校の授業料が年収に関係なく無償化されること、通信課程に志向が流れていることの2点が要因にあると思われる。特に私立中高一貫校は大学まで繋がっているという印象が持たれていると思われる。

山本委員：野中委員と同様の感想を持った。受検倍率が下がっており、当然ながら受検者数もこれまでと比較すると少なめであると感じている。特に今年度は男子が少ないと感じた。それを受けて、来年度以降そういった状況を踏まえて受検者数・倍率がどうなるのか、特に女子の入学者数が多いということで、男子の受検者数が今後変化していくのか、注視する必要があると思う。

一方、受検者数・倍率は今年度下がったが、九段中等としては魅力ある学校づくり、新しいチャレンジを様々しているところなので、それを今後も引き続き区民・都民に周知していくとともに、教育委員会としては今後女子が増えていく中で、施設面の支援が必要と感じた。

大塚委員：今回、男女合同定員を都に先んじて九段中等が実施したが、大きな混乱なく入学者決定をできたということが、一つ大きな成果ではないか。

今後ますます学校選択が多様化してくる。都立中高一貫校も令和7年度入学から男女合同定員になるということで、次年度以降どういった受検倍率や応募状況になってくるのか、注視しながら臨まなければならない。

山本委員もおっしゃっていたが、九段中等はまだまだアピール・周知をしていく必要がある。九段中等の特色ある教育は誇るべきものと感じている。学校現場と教育委員会が更に連携し、様々なツールを活用して九段中等の魅力を発信していく必要性を感じている。これからが正念場と考えている。

野村委員：受検倍率については想定内と思っている。合格者が手続をする段階で、合格者の男女比に関する問い合わせが一番あった。来年度からは都立中高一貫校も男女合同定員になるので、そこがどう影響してくるのかというのはある。ただし、九段中等はここに来たいと思って受検する子どもたちが多い印象が

あり、そこは大事にしていきたい。

女子が増えてくると、山本委員もおっしゃっていたが施設面、更衣室やトイレといったものの整備を考えていかなければならない。多様性の問題も出てくるので、男子更衣室より女子更衣室を多くした方がいいということだけではない。そういった生徒たちへの配慮も今後必要となる。

浅岡委員：今後の推移を見て評価を続けていく必要はあるが、今回のあり方検討会で協議し手続きを進め、機を捉えて男女合同定員に移行したことは、極めて適切だったと感じている。

区立小学校としては、九段中等の魅力や良さ、神田一橋・麴町中を含めた区立学校の良さというものを広報していくことは小学校長会として引き続き応援していきたいし、今後は3校との連携もより深めていきたい。そして子どもたちにとってより良い進路選択のため、平等にチャンス伝えていけるよう、各校の校長先生と連携していくことを小学校長会の方でしっかり確認したいと思っている。

委員長：皆様ありがとうございました。

男女合同定員での適性検査の実施について、大きな混乱はなかったこと、合格者男女比は概ね想定通りの結果となったが、今後の受検者数や合格者男女比率の推移も見守りつつ、適切な対策を講じる必要があるといったことが、皆様からの主なご意見だったと思う。

野村委員からは学校現場が抱える具体的な課題を提起いただいた。課題には設備改修に関するものもあるので、今後、方向性を見極めつつ、施設課等と連携を図り、計画的な対応をお願いしたい。

#### 次第4 その他事項について

##### (1) 事務局より連絡事項

- ・本日の議事については、これまで同様に要約の形で千代田区ホームページに掲載する

#### 次第5 閉会

- ・委員長より閉会の宣言

以上